

スタッフ全員が女性の うどん店誕生

高松・南新町商店街に新名所

高松・南新町商店街に、全スタッフが女性という讃岐うどん店「手打ちうどん たも屋女道場」(高松市南新町一―一九)が、8月18日、グランドオープンした。

讃岐うどん専門店「たも屋」(黒川保社長)と言えば、本店(高松市朝日新町)、林店(高松市林町)ともに男性スタッフが多く、しかも黒川社長を含めて全員が丸刈りという男っぽいや雰囲気の特徴である。

ところが「たも屋女道場」では、これが一変しスタッフ全員が女性となる。たも屋特有の元氣溢れる姿をキープしつつ、女性ならではの温かさでマイホームにいるような安心感溢

れる店にしたいとしている。

また同店は、女性による讃岐うどんの伝統的な製麺技術の伝承という意味合いも込められており、女性の讃岐うどん職人を育てる場にもしていく。

同店は、直営店舗としては3店舗目、県外フランチャイズを含めると9店舗になる。全スタッフが女性という店舗形態は、讃岐うどん店では全国的にも珍しい。

☎〇八七―八一三―二二四三



うどんは本店、林店と変わらない本格讃岐手打ちうどん、足踏み・手打ち工程を女性のうどん職人が行っていく。むろんだしやメニューも同様に、たも屋の基本を踏襲した店となる。

店舗は、高松南新町商店街筋にある乾物「丸一倉庫」の斜め前に立地する。店の責任者はたも屋専務の黒川真弓さんで、13名体制で運営全般にあたる。営業時間は10時半〜15時半で年中無休。